

## 2019 年度決算について

### I. 概要

2019 年度は三育学院大学大学院の設置準備、北浦三育中学校の大多喜移転（三育学院中学校設置）という2つの大きなプロジェクトが実行されました。三育学院中学校は既存の大多喜の施設の一部を共用するため、大多喜施設の改修等を行いましたので、大多喜部門と北浦三育中学校に大きく影響しています。

中等部門では、その他にも沖縄三育中学校校舎改築の設計が進みました。

初等部門では、鹿児島三育幼稚園が認定こども園に、札幌三育幼稚園が施設型給付幼稚園に移行したことにより公的補助金が大きく変わり、財政の改善に大きく寄与しました。

また、10 月からは幼稚園無償化がスタートしました。収入総額は変わりませんが、入金時期の変化と申請事務の増加という影響がありました。

一方、新型コロナウイルス感染拡大により、多くの学校で卒業式を参加者限定にする等の対応を迫られ、年度末が変則的な形で終了しました。2019 年度決算への影響は、幸いまだ軽微であったと思いますが、2020 年度の財政（特に高等・中等）には、影響が大きく出る可能性があります。

### 各校園収支差額及び資金残高

部門(学校・幼稚園)名	経常収支差額	基本金組入前 収支差額	資金増減	資金残高
学校法人	14,447,650	△ 1,487,667	△ 57,294,955	69,659,482
三育学院大学	△ 171,844,760	△ 145,492,332		
三育学院カレッジ	△ 44,726,800	△ 42,669,789		
光風台三育小学校	△ 5,511,244	△ 6,985,456		
広島三育学院高等学校	△ 93,461,515	△ 94,695,102	△ 36,290,513	66,919,299
広島三育学院中学校	17,188,798	17,210,013		
広島三育学院大和小学校	△ 11,991,846	△ 11,987,234		
北浦三育中学校	△ 98,817,197	△ 98,817,197	△ 13,956,775	101,900,155
沖縄三育中学校	△ 25,361,856	△ 17,334,686	△ 41,255,962	99,871,290
久慈川三育小学校	△ 2,818,947	△ 2,818,947	△ 3,369,914	33,370,294
東京三育小学校	1,256,609	2,491,301	7,015,723	205,617,587
鹿児島三育小学校	4,398,772	4,337,742	26,197,100	108,113,091
鹿児島三育幼稚園	16,959,594	18,153,594		
札幌三育小学校	△ 6,716,033	△ 6,716,033	319,066	27,055,624
札幌三育幼稚園	240,347	232,997		

部門(学校・幼稚園)名	経常収支差額	基本金組入前 収支差額	資金増減	資金残高
横浜三育小学校	△ 7,456,861	△ 7,581,543	△ 1,042,548	270,091,557
函館三育小学校	149,500	3,466,000	△ 1,116,048	10,344,606
広島三育学院小学校	21,159,533	21,150,206	△ 126,680,294	176,457,942
広島三育学院幼稚園	△ 6,875,602	△ 6,880,059		
沖縄三育小学校	10,372,747	12,265,742	32,995,733	83,017,602
横浜三育幼稚園	7,316,864	7,301,997	16,993,227	127,381,350
総 額	△ 382,092,247	△ 358,057,025	△ 197,486,160	1,379,799,879

## II. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、その会計年度の ①教育活動、②教育活動外、①・②以外の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した当該年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の状態を明らかにすることを目的としています。

【教育活動収支】：経常的な事業活動収入及び事業活動支出のうち、「経常的な財務活動及び収益事業に係る活動」を除いた活動の収入・支出をいいます。

【教育活動外収支】：教育活動以外の経常的な財務活動及び収益事業に係る活動をいいます。この財務活動とは、資金調達及び資産運用に係る活動をいいます。

【特別収支】：特殊な要因によって一時的に発生した臨時的な事業活動収入及び支出をいいます。具体的には資産売却差額、施設設備寄付金、施設設備補助金、資産処分差額などが該当します。

### 1. 高等（大学・カレッジ・法人）

- ・経常収支差額が3部門合計で約2億円の大幅な支出超過となりました。3～4年生が少ない事による収入不足の他、東京校舎増による経費増、大学院設置準備等で支出規模が大きくなりました。なお、三育学院中学校に関わる整備費等も支出が多くなっている一因ですが、主な金額については北浦三育中学校から相当額を拠出金として受けていますので、収支差額への影響は軽微です。

#### ・大学院設置

三育学院大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）設置が、11月に認可されました。準備のため先行採用した教員人件費、コンサルティング及び申請書類作成指導料、旅費、消耗品等として約2,950万円の支出がありました。

- ・三育学院中学校開校準備

三育学院中学校開校のため、大多喜キャンパスの旧カレッジホール（男子寮）及び旧スミルナ寮（女子寮）の改修、食堂改修の他、中学校キャンパス用品等を法人部門等で支出していますので、経費等が多くなっていますが、主な支出相当額（約7千万円）を北浦三育中学校から拠出金として受けていますので、収支差額への影響は大きくありません。

- ・退職給与引当金

3つの学校法人合併に伴い、それまで教団本部に積立を行っていた退職給与引当金を学校法人本部に移し（雑収入）、学校法人として退職給与引当処理を行いました。

## 2. 中等（高校、中学校）

- ・中等部門は3キャンパスとも経常収支が大きな支出超過となりました。
- ・大和キャンパスは生徒数減少が続いているため、教職員数減をはじめとした費用削減に取り組んでいますが、施設の老朽化も進んでおり、厳しい決算となりました。
- ・北浦三育中学校の支出超過の主因は移転関係で、大多喜での整備負担が約7千万円含まれています。その他、キャンパス移転費用が特別に発生しましたが、教職員の努力により当初見込みよりもかなり低く抑えることができました。
- ・沖縄三育中学校も生徒数減少傾向が続いており、厳しい決算となりました。

## 3. 初等（小学校、幼稚園）

- ・初等部門は全体としては約2千万円の収入超過となりました。
- ・光風台三育小学校は複式化後、児童数が比較的安定していますが、経常収支の支出超過は続いています。昨秋の台風により大きな被害があり、約700万円の保険金が入金になりましたが、台風被害が広範囲にわたった事による修理業者不足等で補修を全て終えることができませんでしたので、約100万円プラスに影響しています。
- ・久慈川三育小学校の支出超過は児童数減と人事異動によるものです。
- ・鹿児島三育幼稚園と札幌三育幼稚園は制度移行により公的補助金が大きく増加し、鹿児島は約1,700万円、札幌も約24万円の収入超過となりました。ただ、保育負担や事務負担も増えており、人手不足の解消が課題として残りました。
- ・広島三育学院幼稚園は園児数が増加に転じましたが、園舎の外壁補修を行ったため、例年よりも支出超過が大きくなっています。

## III. 資金収支計算書

資金収支計算書は、その会計年度の教育活動に対応する資金の調達と用途のすべてを明らかにすることを目的としています。事業活動収支計算書と同じ内容が主ですが、施設設備投

資や資金貸付・借入等による資金増減は、こちらの計算書に記載されます。

#### 1. 高等（大学・カレッジ・法人）

- ・袖ヶ浦の土地の一部売却により、施設売却収入として約4千万円の収入がありました。
- ・資金不足を補うため、広島三育学院小学校より1億6千万円の借り入れを行いました。  
（他部門からの繰入収入）
- ・カレッジホール（男子寮）を299,520,000円で新築しました（建物支出）。30年間の賃借（分割払い）契約のため、長期未払金も増えています。その他、食堂利用者用トイレ整備29,484,000円が、建物支出に含まれています。
- ・寮及び食堂の空調整備に伴い、キュービクル3基を更新しました（構築物支出）。一部は三育学院中学校の負担となっています。
- ・教育用機器備品支出と管理用機器備品支出の主な内容は、寮及び食堂の空調設備と、三育学院中学校の備品等です。
- ・図書支出に大学院分として約360万円含まれています。

#### 2. 中等（高校、中学校）

- ・大和キャンパスで、大雨時の特別教室棟浸水対策として排水路工事を行いました。  
（構築物支出：400万円）
- ・沖縄三育中学校で校舎改築事業が始まっており、設計料として700万円支出しました。  
（建設仮勘定）

#### 3. 初等（小学校、幼稚園）

- ・東京三育小学校で、キュービクルの交換を行いました。（構築物支出：5,004,720円）
- ・鹿児島三育幼稚園で、市の補助金を受けつつ、園庭の総合遊具を更新しました。  
（構築物支出：2,299,968円）
- ・広島三育学院小学校の他部門への繰入支出に、高等への貸付1億6千万円が含まれています。竹屋キャンパスの資金残高が減少している要因です。

#### IV. 貸借対照表

- ・現預金残高は、法人全体で1,379,799,879円となりました。（前年比197,366,160円減）
- ・キャンパス別では、高等・中等部門の残高減少が大きくなりました。
- ・大学のカレッジホール建築に伴う長期未払金と、教団から移管した退職給与引当により固定負債が増加しました。